

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:令和 2 年 2 月 28 日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に遵守した適切なスペースを有効活用	限られた広さの中で、物の配置など、工夫し広々と使えるようにする
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士・教職の有資格者と専門分野の指導員の採用	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差なく、クッションマットなどで安全性を確保	より明るく楽しいスペース造り
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔を保つ除菌空気清浄にアロマなど使用	香り、匂いに敏感な子供達に適した空気清浄を心がける
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		勉強会、研修会へ積極的に参加	今後も学びの場を広げる
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		直接の意見交換ヒアリングを大切にしている	定期的な評価表の実施は今後の課題
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページへ掲載	定期的な更新など今後の課題
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に外部評価を、行っている	継続することで改善につなげる
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		業務に差支えない様確保をしている	研修の学びの場を職員全員で共有することに努める
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的に面談」や電話などで聴き取り個別支援計画を作成	今後も丁寧に継続
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		サービス利用前に基本情報を確認	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ご家族、相談員、学校や園との連携をし、具体的に支援目標を設定している	連携をより強化する
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		丁寧にしている	指導員のスキル向上と共に質の高い、細やかな支援を目指す
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の会議で立案している	子供達に何が最も必要かを都度考え、立案する
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員と意見を出し合い子供達・保護者のリクエストも反映している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		日々、確認をし一人一人の個性やステップに合わせ、作成している	日々、変化する子供たちの成長をしっかりと見極めて作成する

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:令和 2 年 2 月 28 日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々の会議で確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々の会議及びグループメールで共有	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報・個人記録保護者の文章交換を記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングし、支援計画を見直している	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて連携している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在は該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在は該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有し、先生方と連携を取り支援している	学校や園との意見交換の場を増やす
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有し、理解を深め取り組んでいる	学校や園との意見交換の場を増やす
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後も交流を大切にする
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	障害のない児童との交流は基本的に行っていない	保護者からの意見でもあり、難しい課題だが、希望があれば検討する
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		参加している	今後も積極的に参加する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の子供の様子成長について伝え共通理解に努めている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要に応じて対応している	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:令和 2 年 2 月 28 日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学・契約時に丁寧に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		適切な説明を分かりやすい言葉で行っている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		正しくヒアリングし共に考え、助言と支援を行っている	保護者の気持ちをしっかりと汲み取れるようより努める
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		障害をカミングアウトされていない保護者が多いため配慮している	検討はしたい。課題だが保護者会は現実的に難しい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している	迅速かつ細やかな対応を心がける
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の予定表、お便りお知らせをお渡ししている	食育や研修内容なども発信していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		徹底して行っている	今後も徹底して行っていく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉の配慮をし、丁寧に伝えている	各方面で勉強を積み情報伝達に努める
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個人情報の問題があり、難しい取り組み	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員内では周知徹底している文書などで告知	保護者の間では知られていない方もいるので今後説明を徹底する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地域の防災訓練に参加	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用前に確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		行っている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例を出し共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会などに参加し、職員と共有	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在は、該当者なしだが、説明はしている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。